

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先)川崎市長

郵便番号 210-0801

住 所 川崎市川崎区鈴木町1番2号

氏 名 味の素ファインテクノ株式会社

代表取締役社長 櫻井孝男

印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	味の素ファインテクノ株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区鈴木町1番2号		
該当する事業者 の要	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	16	化学工業
主たる事業 の内容	電子材料、機能材料の開発、製造、販売		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	1,701	kl
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO <sub>2</sub>
連絡先	担当部署	担当部署名	環境安全グループ
		所在地	川崎市川崎区鈴木町1番2号
		電話番号	044-221-2524
		FAX番号	044-221-2529
		メールアドレス	
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成25年度～平成27年度(報告年度平成27年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	

備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。

2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。

3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。

4 ※印の欄は記入しないでください。

5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

## 事業活動地球温暖化対策結果報告

## 1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況(第1号、第2号、第4号該当者等)

## (1) 温室効果ガスの排出の量の状況(排出係数固定)

## ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 2,467 t-CO <sub>2</sub> (調) 2,467	(実) 2,412 t-CO <sub>2</sub> (調) 2,412	(実) 2,508 t-CO <sub>2</sub> (調) 2,508	(実) 2,693 t-CO <sub>2</sub> (調) 2,693	(実) 2,393 t-CO <sub>2</sub> (調) 2,393
削減率		(実) 2.2 % (調) 2.2 %	(実) -1.7 % (調) -1.7 %	(実) -9.2 % (調) -9.2 %	(実) 3.0 % (調) 3.0 %

## イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の 活動量	生産量		単位	t-CO <sub>2</sub> /t	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量 原単位等の値	3.631	3.877	5.004	5.768	3.519
削減率		-6.8 %	-37.8 %	-58.9 %	3.1 %

## ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	排出量を削減したが、他事業所への生産移行や少量多品種生産への移行により生産量減少し、原単位が悪化した。
第2年度	試験研究設備の増加、生産量の大幅な減少により原単位が悪化した。
第3年度	少量多品種化による生産量が基準年より31%減少、試験研究設備の増加、社屋の新設(延べ床面積2759m <sup>2</sup> )により、エネルギー使用量が基準年より12%増加、エネルギー使用量と原単位の双方が悪化した。

## (2) 温室効果ガスの排出の量の状況(全社目標)

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	①スチームトラップの点検 ②空調の運転時間、温度などの適切な管理 ③変圧器稼働台数の調整、負荷の適正配分 ④プラントエアーの負荷に応じた流量、圧力によるコンプレッサー運転 ⑤コンプレッサー負荷の平準化
	第1年度	①トラップチェックを実施、不良箇所を交換した。 追加実施: 蒸気圧力弁設置による供給圧力の適正化を実施した。 追加実施: 工水のブースターポンプ採用により空転を防止した。 追加実施: センサー付き照明に変更した。 追加実施: 可能な範囲でHi型に変更した。 追加実施: 一部LED照明を導入した。
	第2年度	追加実施: 一部建屋でLED照明化。 追加実施: 能力不足、老朽化した工場空調用のチラーユニットを更新した。 追加実施: 従業員教育の一環でエネルギー使用量を毎週社員にメール配信している。 追加実施: ISOと連動する形で省エネ推進会議を開催して全社で省エネを推進している。
	第3年度	追加実施: 蒸気トラップ点検、不良箇所を交換した。 追加実施: CASBEE川崎、省エネ法に沿った社屋を新築した。
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	



## 4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	なし

## 5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	①従業員の通勤におけるマイカー使用禁止 ②運送業者に対する低燃費車使用やエコドライブ実施の要請 ③廃棄物の削減、減量化 ④従業員への環境教育の実施 ⑤ISO14001による環境改善活動の実施
第1年度	①マイカー使用禁止を継続した。 ②エコドライブ実施の要請を推進した。 ④省エネについて従業員教育を実施した。 ⑤省エネに関する検討委員会設置の準備をした。
第2年度	①マイカー使用禁止を継続した。 ②エコドライブ実施の要請を継続した。 ③廃棄物の削減を実施した。
第3年度	①マイカー使用禁止を継続した。 ②エコドライブ実施の要請を継続した。

## 6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績(排出係数反映)

## (1) 事業者単位

## ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	2,610	t-CO <sub>2</sub>
(調)	2,610	

## イ 第3号該当者等

(実)		t-CO <sub>2</sub>
(調)		

## (2) 事業所等单位(第1号、第2号該当者等)

## ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500kl以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
本社	川崎市川崎区鈴木町1番2号	1639	その他の有機化学工業製品製造業	2,610 t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

## イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl以上1,500kl未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

## ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500kl 未満	
300～400kl 未満	
200～300kl 未満	
100～200kl 未満	
100kl 未満	

## (3) 事業所等单位(第4号該当者等)

## ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量(二酸化炭素換算)が3,000t以上(二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。)の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

## イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量(二酸化炭素換算)が3,000t未満(二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。)の事業所の数

事業所数	
------	--